

学校だより

令和7年2月21日

南砺市立井波小学校

2月号 第364号

井波小学校HPアドレス
<https://inami-e.nanto.ed.jp/>



井波っ子

題字 6年 古田 叶華さん

(県書き初め大会出場児童)

今年度の学校教育に関するアンケートより

教頭 澤田 雅恵

本年度の重点目標「考え、見つめ、挑戦する子」についてアクションプランを設定し、徳・知・体の三つの目指す子供像の実現に取り組みました。達成率の目標は、いずれも90%以上としました。子供たちの自己評価の結果は下表のとおりです。徳および体については目標の90%を達成しました。知については徐々に評価が上がり、90%に近付きました。それぞれの結果について今年度の教育活動を振り返ります。

○ 今年度のアクションプラン

項目(指標) (90%以上)	徳 自分の気持ちを伝える		知 自分の考えをもつ				体 自分の目当てをもつ	
	1学期	2学期	1学期		2学期		1学期	2学期
			1回目	2回目	3回目	4回目		
よくできた だいたいできた	85.0%	90.0%	81.4%	87.3%	87.9%	89.5%	91.6%	93.0%

【徳】自分の気持ちを伝えることができる子供

朝の会や帰りの会において、自分のことを話すだけでなく、友達の話聞いて思ったことや感じたことを積極的に伝えようとする子供が増えました。また、学習においてペアやグループ等少人数での活動の機会を設けたことで、自分の考えを進んで話す様子が見られました。今後も、自分の気持ちを伝える場面を意図的に設定し、自分から気持ちを伝えたり、相手の思いを受け止めたりすることができるようにしていきたいと思ひます。

【知】自分の考えをもつことができる子供

重点的に取り組む教科や単元を設定し、自分の考えを話したり書いたりできるように学習活動を工夫しました。子供が考えたくなるような課題設定や疑問が生まれるような問い掛けも工夫しました。今後は、考えを表現できるように教師が書き方や話し方を例示したり、図で示したりする場を繰り返し設定するなど、子供一人一人に応じた支援をさらに工夫していきます。

【体】自分の目当てをもつことができる子供

運動(体力テスト・持久走)と健康(歯磨き)を重点に、目当てをもって取り組みました。活動を振り返って、目当てを見直したりレベルアップを試みたりする姿が見られました。今後も、子供が自分の努力を自覚したり達成感を味わったりできるように教師が子供の頑張りを認め、称賛の声を掛けていくことを大切にしていきます。

3・4月の行事予定

3月の行事予定

- 3日(月) 集団登校
- 3~5日(月~水) 5限後下校
- 7日(金) 6年生卒業おめでとう集会
- 11日(火) 西能スポーツ賞授賞式
- 13日(木) 卒業式予行
- 17日(月) 卒業式
- 21日(金) 給食終了、集団登校
5限後下校
- 24日(月) 修了式、退・離任式
集団登校、11:35下校

4月の主な行事予定

- 8日(火) 第1学期始業式・集団登校
- 9日(水) 入学式
- 10日(木) 5限後集団下校
給食開始
- 19日(土) 学習参観、
父母と教師の会総会
学年学級懇談会
- 21日(月) 振替休業日



雪の楽しさと危険性

生徒指導主事 嶋田 光亨

今年は雪の少ない冬かと思いきや、突然の大寒波による積雪。自然とは分からないものです。子供たちは「待っていました」とばかりに雪遊びを楽しんでいました。

雪は、楽しい時間や美しい景色をつくりませんが、同時に危険な面もあります。冬を楽しく安全に過ごすため、学校では日頃から子供たちに指導していますが、通学路の危険個所について、ご家庭でも確認をお願いします。

<滑りやすい道路>

雪や氷で覆われた道は非常に滑りやすくなります。転倒や交通事故の原因となるため、凍った路面を歩く際や、歩道のない道を走る車の横を通る際は特に注意が必要です。

<屋根からの落雪>

建物の屋根に積もった雪が突然落ちてくることがあります。建物の近くを歩く際は、上からの落雪に気を付けなければなりません。

さて、子供たちは雪が降るのが待ち遠しくて仕方がない様子です。雪でどんな物をつくろうか、何をして遊ぼうかと考えるだけで嬉しく、危険を忘れてしまいがちです。ある日の放課後、職員室で仕事をしていると、窓を外から叩く小さな手が見えました。話を聞くと、「先生、大変です。雪山に登って遊んでいた男の子の長靴が、雪に埋まって取れません。」と言うのです。現場に駆け付けると、除雪機が押し固めた雪の山と、ぽっかりと空いた穴の奥に黒い長靴が見えました。実は、雪山には隙間があり、上に乗った際に落とし穴に足をとられるようにはまってしまったようでした。幸い、男の子は自力で抜け出し、傍を通りかかった子供が知らせてくれたため、長靴も掘り出すことができ、大事には至りませんでした。

災害時は、特に「自助・公助・共助」の大切さを感じると聞きますが、日々の暮らしの中でも危険性に気付き、子供たちが互いを思いやって、安全に過ごすことの大切さを実感します。



<雪遊びをする1年生>



元気いっぱい井波っ子



4年生 伝統産業を見学して

4年学年主任 浦 浩一

4年生は校外学習（社会科）で、高岡市の鋳物製造会社、能作へ行ってきました。能作では、鋳物造りの工程の見学と、錫の箸置き作りを体験しました。

見学では、金属によって溶ける温度が違ったり、用途によって金属を使い分けたりしていることから、金属の特徴を生かして製造していることを学びました。

見学を通して、子供たちは、井波に木彫刻という伝統産業があるように、高岡にも銅器製造、鋳物製造という産業があることを知るとともに、それぞれの地域で暮らす人々が、特色ある町づくりや産業の発展に努めていることに気付きました。



<手順を聞く子供たち>

特別支援学級「成長を見せよう」

特別支援学級主任 曲師 ひとみ

この一年、「できることをふやそう」を目標に、いろいろなことに取り組んできました。気分が乗らないときもありましたが、毎日の学習にも取り組んできました。子供たちが話し合っ、2月の学習参観では、「成長を見せよう」を目標に集会をすることにしました。「リコーダーの演奏を見てもらいたい」「難しい漢字を読めるようになったから、見てもらいたい」「縄跳びが上手になってうれしかった」などと集会での発表に向けて張り切っています。子供自身が「〇〇ができるようになった」と自分の成長を自覚できることが、次の活動への意欲につながると感じます。子供たちの力で集会を成功させ、次の一年のがんばりにつながることを願っています。



<子供たちでの話し合い>